

# 個人保証制度に関する調査

2013年1月

調査主体 経済産業省 中小企業庁 事業環境部 金融課

【ご協力をお願い】

中小企業金融円滑化法の最終延長期限が平成25年3月に迫る中、中小企業の早期の事業再生に向けた環境を整備していくことが求められています。そこで、企業の再生局面等における個人保証の実態把握を行い、中小企業の事業再生に向けた環境整備策を検討するためのアンケートを実施することになりました。つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力をお願い申し上げます。

本調査は、調査主体である**中小企業庁**が、直接、調査票をご送付させて頂いております。今後の工程（アンケートの回収及び集計などの取りまとめ）については、民間の調査研究機関（シンクタンク）である「株式会社リベルタス・コンサルティング」にて厳重な管理の下で実施させていただくことをご了承願います。なお、ご回答内容について、すべて統計的に処理し、回答企業及び個人が特定されるような形で公表することは一切ございません。

## 【ご回答の注意点】

- 本調査は、**経営者の方**がご回答ください。
- ご記入が終わりましたら、同封の返送用封筒（切手不要）に入れて**2月8日(金)**までに投函してください。

本アンケート調査についてご不明な点、ご質問等がございましたら、調査内容については【調査内容に関するお問合せ先】まで、回答方法等については【調査実施に関するお問合せ先】までご連絡をお願いいたします。

### 【調査内容(調査の趣旨・目的等)に関するお問合せ先】

○経済産業省 中小企業庁 事業環境部 金融課  
〒100-8912 東京都千代田区霞が関 1-3-1  
担当者: 阪田、森本、井上、堀、犬飼  
TEL: 03-3501-2876  
受付: 平日 10:00~17:00(土・日・祝を除く)

### 【調査実施(回答方法等)に関するお問合せ先】

○株式会社 リベルタス・コンサルティング  
〒105-0003 東京都港区西新橋 2-18-2  
新橋NKKビル 7階  
担当者: 八田、菊池  
TEL: 0120-575-334(フリーダイヤル)  
受付: 平日 10:00~17:00(土・日・祝を除く)



**I はじめに、貴社の概要についてお聞きします。**

【問1】 貴社の本社が所在する都道府県をご記入ください。(自由記述)

--

【問2】 貴社の会社形態についてお答えください。(○は1つ)

1. 株式会社	4. 合資会社
2. 有限会社	5. 個人事業主 (個人経営)
3. 合名会社	6. その他 ( )

【問3】 貴社の業種について、最も当てはまるものを1つお選びください。(○は1つ)

1. 建設業	5. 卸売業	9. 宿泊業	13. 医療、福祉
2. 製造業	6. 小売業	10. 飲食サービス業	14. その他のサービス業
3. 情報通信業	7. 不動産業・物品賃貸業	11. 生活関連サービス業	15. その他
4. 運輸業	8. 専門・技術サービス業	12. 教育、学習支援業	( )

**II 貴社の私的整理の経験についてお伺いします。**

【問4】 貴社では、企業の私的整理に係る以下の機関に相談した経験がありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 中小企業再生支援協議会 ⇒問5へ	4. その他 ( )
2. 事業再生 ADR	5. 相談した経験はない
3. 企業再生支援機構	

⇒「1. 中小企業再生支援協議会」を回答していない方は、問31 (P6) へお進みください。

(問4で「1. 中小企業再生支援協議会」と回答した方のみお答え下さい)

【問5】 貴社は中小企業再生支援協議会(以下、再生協)との以下の手続きについて、行った時期をご記入ください。

(数字を記入)

	行った時期(数字を記入)
①再生協に最初に相談に行った時期	西暦 20 年 月
②再生協から支援決定を受けた時期	西暦 20 年 月
③再生計画について、金融機関の合意を得られた時期	西暦 20 年 月
④再生計画に基づく、債務の弁済の完了の有無	1. 完了していない 2. 完了している
(「2. 完了している」と回答した場合)完了した時期	↓ 西暦 20 年 月

【問6】 再生協に相談した直前3期の決算の状況について、最も当てはまるもの1つをお選びください。(○は1つ)

①貸借対照表 (B/S)

1. 3期連続資産超過	3. 債務・資産均衡	5. 3期連続債務超過
2. 直近1～2期資産超過	4. 直近1～2期債務超過	

②損益計算書 (P/L)

1. 3期連続黒字	3. 収支均衡	5. 3期連続赤字
2. 直近1～2期黒字	4. 直近1～2期赤字	

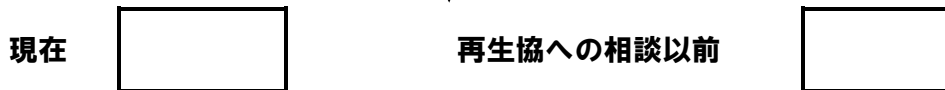
【問7】 貴社が現在及び再生協に相談する以前に融資取引のある(あった)金融機関の数をお答えください。

(数字を記入)

現在		行
再生協議会への相談以前		行

【問8】 貴社が現在及び再生協に相談する以前のメインバンク(借入シェアの大小に関わらず貴社がメインバンクと認識している金融機関)について、それぞれ最も当てはまるものを1つずつ選んで下さい。(番号を記入)

1. 都市銀行	4. 第二地方銀行	7. 商工組合中央金庫
2. 信託銀行	5. 信用金庫	8. その他( )
3. 地方銀行	6. 信用組合	



【問9】 再生協に相談に行く前に、以下の金融支援を受けましたか。(あてはまるもの全てに○)

1. 信用保証協会による保証付き融資	6. 事業スポンサーからの金融支援
2. 日本政策金融公庫による融資	7. 取引先からの金融支援
3. 商工組合中央金庫による融資	8. 第三者等個人の金融支援
4. 地方公共団体による融資制度	9. ファンドからの出資
5. 民間の金融機関によるプロパー融資	10. その他( )
	11. いずれも受けていない

【問10】 再生協の支援による再生計画はどのような内容でしたか。

①債務免除：債務総額のうちどれくらい免除されましたか。(○は1つ)

1. 債務免除なし	3. 3割超～5割以下	5. 7割超～9割以下
2. 3割以下	4. 5割～7割以下	6. 9割超以上

②弁済猶予期間：再生計画における弁済猶予期間はどれくらいでしたか(複数の明細がある場合は、最も長いもの)。

(○は1つ)

1. 弁済猶予なし	3. 1年超～3年以内	5. 5年超～7年以内
2. 1年以内	4. 3年超～5年以内	6. 7年超以上

③再生計画：再生計画として具体的に盛り込まれた内容は何でしたか。(あてはまるもの全てに○)

1. 事業譲渡	6. 不採算事業からの撤退	11. 産活法の利用
2. 事業再編	7. 費用の見直し	12. 個人保証債務の免除
3. 増資	8. 経営管理指標の変更	13. その他( )
4. 減資	9. 人員整理	
5. 会社分割	10. 金融支援の利用	

【問 11】 再生計画策定時の費用、および貴社の負担割合をお答えください。（数字を記入）

費用	およそ		万円
負担割合	およそ		割

【問 12】 再生協に相談する以前の経営者と現在の経営者は同じですか。（○は1つ）

1. 異なる 2. 同じ ⇒問 13 へ 3. わからない ⇒問 13 へ

（問 12 で「1. 異なる」と回答した方のみお答え下さい）

【付問 12-1】 現在の経営者は、どのような方ですか。（最も近いもの1つに○）

1. 前経営者の身内・家族 4. 金融機関及び再生ファンド等からの派遣  
2. 元取締役、もしくは元従業員（1. を除く） 5. その他（  
3. 事業スポンサーからの派遣

【付問 12-2】 再生協に相談する以前の経営者は、どのような処遇となりましたか。（最も近いもの1つに○）

1. 引き続き社内におり、経営に關与 4. 退任し、経営に關与していない  
2. 引き続き社内にいるが、経営には關与していない 5. その他（  
3. 退任したが、経営に關与している 6. わからない

【問 13】 再生計画を立てた際、金融機関から経営者の交代を求められましたか。（○は1つ）

1. 求められた 2. 求められていない 3. わからない

### Ⅲ 経営者の個人保証についてお伺いします。

【問 14】 再生協に相談に行った当時、経営者の方は金融機関からの融資に対して、個人保証を負っていましたか。（○は1つ）

1. 負っていた 2. 負っていない ⇒問 30 へ 3. わからない ⇒問 30 へ

（以下、問 14 で「1. 負っていた」と回答した方のみお答え下さい）

【問 15】 再生協に相談に行った当時の経営者の個人保証債務額の合計額はどのくらいですか。なお、根保証契約の場合は、極度額でご回答下さい。（最も近いもの1つに○）

1. 1,000 万円未満 5. 1 億～3 億円未満 9. 20 億～30 億円未満  
2. 1,000～3,000 万円未満 6. 3 億～5 億円未満 10. 30 億円以上  
3. 3,000～5,000 万円未満 7. 5 億～10 億円未満 11. わからない  
4. 5,000～1 億円未満 8. 10 億～20 億円未満

【問 16】 問 15 で回答した個人保証債務の合計額は、貴社の借入金額と比べた場合、以下のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1. 借入金額より多い 3. 借入金額より少ない  
2. 借入金額とほぼ同程度 4. わからない



(問 20 で「1.」から「5.」と回答した方のみお答え下さい)

【問 23】 ①個人保証債務について手続きを開始(例:個人の民事再生手続きや金融機関との私的整理を開始)した時期(又は交渉を開始した時期)と、②個人保証債務について手続きを終了した時期(又は交渉を終了した時期)のそれぞれについて最も当てはまるものを1つ選び、下の枠の中に番号をご記入ください。

- |  |
|--|
| 1. 再生協に最初に相談に行く以前                            |
| 2. 再生協に最初に相談に行った時期から支援決定を受けた時期まで             |
| 3. 再生協から支援決定を受けた時期から再生計画について金融機関の合意を得られた時期まで |
| 4. 再生計画について金融機関の合意を得られた時期から1年後まで             |
| 5. 再生計画について金融機関の合意を得られた1年後から債務の弁済の完了時まで      |
| 6. 債務の弁済の完了から現在まで                            |
| 7. 未だ手続きを開始していない                             |
| 8. 未だ手続きを終了していない                             |

個人保証債務について  
手続きを開始した時期  
(又は交渉を開始した時期)

個人保証債務について  
手続きを終了した時期  
(又は交渉を終了した時期)

(問 20 で「1.」から「5.」と回答した方のみお答え下さい)

【問 24】 個人保証債務の履行時において、個人資産をどの程度提供しましたか。(最も近いもの1つに○)

- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| 1. すべて提供した               | 4. 半分以下だが提供した |
| 2. 自由財産99万円以外の私財をすべて提供した | 5. 一切提供していない  |
| 3. 過半数の資産を提供した           |               |

(問 20 で「1.」から「5.」と回答した方のみお答え下さい)

【問 25】 個人保証債務の履行時において、個人資産はどの程度残りましたか。(それぞれ、最も近いもの1つに○)

①金融資産 (現金・預金、 株式・出資金、 投資信託、債権 等)	1. 100万円未満	4. 500～1,000万円未満	7. 3,000万円以上
	2. 100～300万円未満	5. 1,000～2,000万円未満	
	3. 300～500万円未満	6. 2,000～3,000万円未満	
②自宅(自己 所有の持家)	1. 自宅所有権は残った	2. 自宅所有権を失った	3. 当初から自宅無し
③自家用車	1. 自家用車は残った	2. 自家用車を失った	3. 当初から自家用車無し

【問 26】 経営の継続にあたり、最低限必要な個人資産(金融資産、自宅(自己所有の持家)、事業活動に必要な自家用車等)はどの程度だとお考えでしょうか。(それぞれ、最も近いもの1つに○)

①金融資産 (現金・預金、 株式・出資金、 投資信託、債権 等)	1. 100万円未満	4. 500～1,000万円未満	7. 3,000万円以上
	2. 100～300万円未満	5. 1,000～2,000万円未満	
	3. 300～500万円未満	6. 2,000～3,000万円未満	
②自宅(自己 所有の持家)	1. 必要	2. どちらともいえない	3. 不要(賃貸でよい)
③自家用車	1. 必要	2. どちらともいえない	3. 不要

(問 21 で「8. 金融機関又はサービスへの満足する弁済に応じなかった」と回答した方のみお答え下さい)

【問 27】 金融機関又はサービスから残りの個人保証債務の履行についても請求されていますか。(○は1つ)

1. 請求されていない⇒問 29へ 2. 請求されている⇒問 28へ 3. わからない⇒問 29へ

(問 27「2. 請求されている」と回答された方にお聞きします。)

【問 28】 個人保証が免除されずに請求され続けている理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 既に全ての個人資産を提供しているが、金融機関又はサービスから理解が得られていない  
2. 可能な範囲で分割弁済を行っているが、金融機関又はサービスから理解が得られていない  
3. 手許に残す個人資産の範囲で調整が付かない  
4. 個人の法的整理(破産、民事再生等)を要求されている  
5. 債権者が変わり、急に個人保証債務の履行を請求された  
6. その他( )

(保証協会の信用保証制度をご利用になった方に伺います)

【問 29】 再生計画の認定後、現在まで信用保証協会の求償権※についてどのように対応しましたか。(最も近いもの1つに○)

1. 求償権債務がそのまま残っている 5. 求償権を放棄してもらった  
2. 求償権債務の計画的返済を継続中 6. 分からない  
3. 求償権債務を完済した 7. その他( )  
4. 求償権消滅保証の利用を行った

※求償権とは、保証協会が保証先の企業の代わりに金融機関に債務を支払った場合、支払った額に応じて保証先の企業に対して保証協会が持つ債権です。

【問 30】 貴社は経営者の個人保証債務が整理されるまでの間、どのような負担がありましたか。(あてはまるもの全てに○)

1. 新規融資が受けられない 4. 新しいスポンサーが付かない  
2. 精神的負担が大きい 5. その他( )  
3. 再挑戦の意欲がわからない

【問 31】 個人保証制度に関するご意見・ご要望等がございましたら記入してください。(自由記述)

**Ⅳ 最後に、貴社及びご回答者様についてお聞きします。**

【問 31】 貴社について下記にお答えください。

貴社名			
所在地	〒		
創業年（西暦）	年	資本金	円
直近決算	西暦 20 年 月	売上高（直近）	百万円
総資産額	百万円	営業利益（直近）	百万円
総有利子負債額	百万円	経常利益（直近）	百万円
自己資本額（純資産額）	百万円	当期利益（直近）	百万円
常用雇用者数	人		
直近 3 期の決算 貸借対照表 (B/S) (○は 1 つ)	1. 3 期連続資産超過 2. 直近 1～2 期資産超過	3. 債務・資産均衡 4. 直近 1～2 期債務超過	5. 3 期連続債務超過
直近 3 期の決算 損益計算書 (P/L) (○は 1 つ)	1. 3 期連続黒字 2. 直近 1～2 期黒字	3. 収支均衡 4. 直近 1～2 期赤字	5. 3 期連続赤字

※ご不明な項目については、おおよその数値で結構です。

※常用雇用者にはパート/アルバイトは含み、事業者本人/役員/その他家族従業者/派遣労働者/臨時雇用者等は含みません。

〔連絡先〕 ご回答をとりまとめていただいた方の連絡先をご記入ください。

ご回答者氏名		ご所属部署・役職	
電話番号			
メールアドレス			

ご協力いただきありがとうございました。